

特集

フラッシュメディアの動向



Kingmax 新製品



Mag-Lab 売れ筋メディア TOP10

1.	KM-SDHC10X16G	6.	KM-SDHC6X4G
2.	DA-SDHC4X4G	7.	KM-SDHC2X4G
3.	That's DR-47WWY50BNJK	8.	三菱 VHR12JDP50H5
4.	KD-SD2G	9.	KM-MCSDHC6X8G
5.	KM-MCSD2GX	10.	Kingmax PD-02 WH2GBKS

フラッシュメディアの動向

スマートフォンの新製品が各社からリリースされてマイクロSDの高容量製品の売り上げが期待できる冬商戦だと考えていたが高容量メモリの品不足と価格上昇で出鼻を挫かれたかんがある。

スマートフォンユーザーも32GBのマイクロSDが5,000円以下であれば購入を検討するのだろうか。まだまだ高値なので今年いっぱいには8GB、16GBで我慢するユーザーが多そうである。年末商戦向けのメモリ需要が世界各国で予想を上回っているメーカーと在庫を抱えているメーカーの二極化が顕著となっている。売上が好調なメーカーは12月の予定在庫数をすでに売り切ってしまうと新規にウ

エハーの手配に追われている。マーケットの価格もこのところあまり大きな動きはなく様子見状態である。

日本市場は、円安傾向で価格を上げたメーカーも出てきており市場において12月は価格差が生まれる可能性が高い。

12月のマーケット価格は、これまでの値下がり状態から安定した価格帯もしくは品不足の低容量メモリ1GB、2GBと16GB以上の高容量タイプが徐々に値段を上げていくことが予想される。この時期に価格を下げてくるメーカー品は、何らかの問題があるメモリである可能性もあるので要注意である。中国ではSDメモリの中にマイクロSDメモリが入っている商品も出回っているようである。



Kingmax 情報 2011年の展望

Kingmaxの2011年にかけての方針は、メモリも売り上げにプラスできる商品の展開に力を入れて行く。

メモリに関しては、スマートフォン向けの高容量マイクロSDメモリ、2011年後半に本格化するUSB3.0対応USBメモリに力を入れる。

またUSBメモリは、製品別に価格差を持たせた商品展開を進めていく。価格重視のユーザーには価格を追求したエントリーモデル、ビジネス用途のこだわり派にはデザイン・材質重視の商品を展開する。

2011年はスマートフォンマーケットが更に広がる可能性が高いため、スマートフォン用のセカンドバッテリーとマルチパスのポータブル電源ユニットも事業の大きな柱に育てる

ことを期待している。

フラッシュメモリマーケットは、リテール商品以上にOEM、産業用、バンドル製品のパイが非常に大きい。

2010年は韓国のスマートフォンにKingmaxのマイクロSDカードがバンドルされた実績がある。

今後は、家庭の中で使用する機器の多くがメモリカード対応になるため家電製品向け高品質メモリの展開もアジアを中心に展開していく。

KingmaxのUSBメモリが他社製品と比べて大きく違う点は、各種ユーティリティソフト、本格的なコピープロテクトソフトウェア、便利なポータブルアプリケーション内蔵USBメモリを提供可能な点である。2011年は他社との違いを前面に押し出した展開を

進めていく。

2011年のフラッシュメモリ需要であるが携帯電話が全体の46%、MP3 Player等のポータブルデバイス向けが12%、USBメモリが11%、デジタルカメラが6%、その他SSDを含めたものが25%と予想している。

SSDに関しては価格がハードディスクに比べて高価なため2011年も大きな伸びは期待できない。

需要の中でデジタルカメラの割合が下がりがつある。

すでに多くのユーザーが高性能デジタルカメラをすでに所有していることとスマートフォンに搭載されたカメラ機能が一段と高品質になったことが大きな要因かもしれない。

2010年2011年フラッシュマーケット規模

フラッシュメモリのマーケット規模は、2010年が170億ドル(1.7兆円)、2011年が200億ドル(2兆円)、2012年が260億ドル(2.6兆円)、2013年が330億ドル(3.3兆円)になるとの予想がある。

3年後には現在の倍近いマーケットになる訳だが3年後に現在と同じ製品が継続されて販売されているとは限らない。

CD-R、DVD-R、ブルーレイメディアとフラッシュメモリの大きな違いは、フラッシュ製品は常に進化しており製造過程が毎年のように変化していくことである。対応するハードウェアもメモリの新しい規格が登場するとすぐに新製品として製品化されて

くる。このためメモリの価格が底値になり会社の収益がどうにもとれなくなることはない。各社とも収益性の悪い容量のメモリは生産を打ち切り利益の出る商品へ切り替えることができる。

2011年は、32GBから徐々に64GBへと移行していく。歩留まりが悪くなり移行がうまくいかないと高容量のメモリの品不足になる可能性がある。

2011年第4四半期には現在の32GBと64GBの生産量比率が逆転すると予想されている。2010年はMLCからTLCへと移行する年のはずであったがOEMはMLCの需要が多かったためTLCは思ったよりも生産

が増えなかった。

2011年もOEM用はMLCのまま製品開発が継続されるためMLCからTLCへの移行は遅れることが予想される。

Month	10E Total	11F Total
SLC (One bit Per Cell)	255	444
MLC (Two bit Per Cell)	3745	5834
TLC (Three bit Per Cell)	1192	3047
TTL	5232	9325
SLC (One bit Per Cell)	5.6%	4.8%
MLC (Two bit Per Cell)	71.6%	62.6%
TLC (Three bit Per Cell)	22.8%	32.7%

容量別 生産量 比率 %	4Q10	1Q11	2Q11	3Q11	4Q11
4GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
64GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
128GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
256GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
512GB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
64TB	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

NANDフラッシュ月別生産量とメーカー比率

NANDフラッシュの今後の月別生産予定数量は、2010年12月が573ミリオン/個、2011年1月が625ミリオン/個、2011年2月が572ミリオン/個、5月から10月までの期間は生産量が若干増え11月以降は、1000ミリオン/個を超えると予想されている。

2009年の年間総生産量が2,913ミリオン/個。

2010年は、5,232ミリオン/個、2011年は、9,326ミリオン/個2009年と比較すると生産量は、3倍以上に伸びている。メーカー別では、全生産量に対してサムソンと東芝/サンディスク陣営が各37%、インテル/マイクロンが18%の生産をおこなって

いる。生産量を国別で比較してみると2010年は、韓国が全体の45%、日本が38%となっている。この比率は2011年になっても大きな変更はないと見られている。

フラッシュメモリは、CD、DVDのようにポリカーボネイト素材を購入してくれば誰でも製造できるものではないのでどうしてもサムソン、東芝、サンディスク、インテル/マイクロン頼みとなっている現状は今後も変わらない。

日本、韓国以外の国での生産ができるようになれば競争による価格変動が起きるのだが東芝、サムソン、パナソニックが特許を数多く保有しているので簡単に

市場参入することは難しいかもしれない。

グローバルNANDフラッシュマーケット予測 年間別 上化成長率

	2010E	2011F	2012F	2013F
全世界NANDフラッシュ売上 (USD'10億)	17.2	20.7	25.7	33.7
成長率	42%	17.4%	24.0%	28.7%
全世界NANDフラッシュ消費 (1000百万)	5.150	9.283	16.393	28.089
成長率	78.9%	61.2%	78.2%	71.7%

主要NANDフラッシュメーカー年間設備投資 予測

会社名	NANDフラッシュ 設備投資		
	2009	2010	2011
Samsung	1,293	2,667	3,048
Hynix	243	720	964
Toshiba/SanDisk	1,290	2,600	2,600
IM Flash	252	313	1,600
合計	3,048	6,300	8,112

主要NANDフラッシュメーカーの2011年設備投資は、昨年同様である。インテル/マイクロンは、2010年設備投資の5倍以上を予定している。

i-Phone ケース/スタンド



SDXC 対応カードリーダー



Google TV



フラッシュ生産量、需要から見る今後の価格動向

右図は、NANDフラッシュの2009年から2011年までの製品別需要である。グラフを見ると一目瞭然だが携帯電話で使用されるNANDフラッシュが抜きん出ている。その他の需要も増加傾向であるがタブレットPCの出荷台数が2011年に入ってから本格化するための伸びである。SSDは、価格が下がらない限りは大幅に需要が増加することは2011年も考えにくい。

NAND型フラッシュメモリは、2Xnm世代が2011年には本格化する。2010年は、3Xnmプロセスが全体の57.4%、2Xnmプロセスが9.5%であったが2011年には完全に2Xnmプロセスが主流となることは明白である。

世界的な経済の低迷の中、フラッシュ業界は、緩やかではあるが2011年も成長すると予測することができる。

欧米の需要は伸び悩みではあるがスマートフォンの需要だけは低迷している地域でも伸びるはずである。

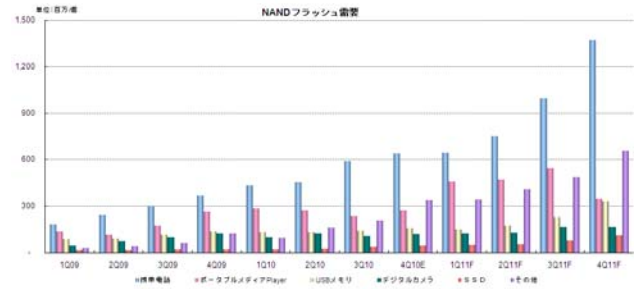
プロセス	10年合計	11年合計
90nm	0.0%	0.0%
6X & 7X nm	2.3%	0.5%
5X nm	6.3%	1.8%
4Xnm	24.5%	5.6%
3Xnm	57.4%	33.4%
2xnm	9.5%	58.8%

また中国やインドの携帯電話普及はまだこれからなため、この2国の需要だけでもかなりの売上げが期待できる。

低容量メモリの価格は、大きな変化は見られないが8GB以上のメモリに関しては、2011年第2四半期以降は大幅に下がってくる予想される。

第4四半期には、16GBや32GBメモリがメインストリームとなる可能性が高い。

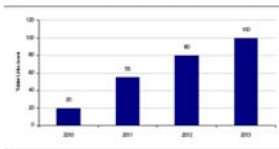
価格も現在の価格の半分以上になることも十分考えられる。



タブレットPC

2011年タブレットPCの出荷は、2010年を大幅に上回ることが予想されている。Androidを使用したタブレットがiPadのマーケットをかなり侵食すると思われていたがAppleではすでにiPad2のリリースを予定しており2011年は2010年の倍の数量を販売すると豪語している。Appleは、2011年のタッチスクリーンデバイスの出荷が2000万台以上になると発表している。アンドロイド、iOSの戦いは2011年更に激しくなる。

Chart 1: USB Tablet Forecast



Source: USB

BD-R 4X

12月は、BD-Rの需要が大きくなると予想されている。当社では、年末年始商材に最適なBD-Rメディアの販売を数量限定で予定しています。まだBD-R商材の手配をされていない方は、当社営業担当者まで価格の問い合わせをしてください。

BD-Rの価格は、徐々に下がりに始めていますので2011年は2010年に比べてさらに大きな市場となることが明らかである。



スマートフォン バッテリー

スマートフォン用バッテリーの出荷が12月から開始されます。



Kingmax USBメモリ

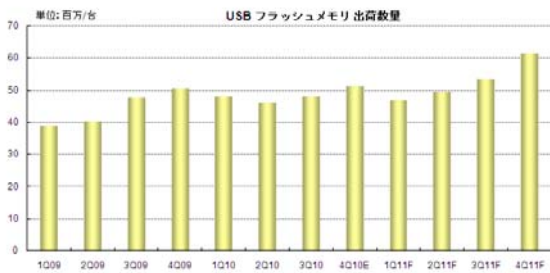
まだ最終決定ではないがKingmaxがこれからリリースする予定のUSBメモリを紹介する。Kingmaxが色々な種類のUSBをリリースする理由は、国によって嗜好が異なるためである。日本でどのモデルを展開するかは今のところ未定。



製品別フラッシュ出荷予想

■USBメモリ

下記グラフを見てわかるようにUSBメモリの出荷数量は、2009年から少しずつ増加しているが急激な伸びは示していない。CD、DVDに取って代わるには価格面で開きが大きいのが原因である。2011年も第3四半期までは同じような状況が続き、USB3.0製品の本格化が始まる2011年第4四半期から出荷数量が増えてくると予想される。



■デジタルカメラ

デジタルカメラは、2011年も今年同様の出荷台数になる可能性が高い。メモ리카ードの新規格が一般化する第4四半期に買い替え需要が増えると予想されているが既に画素数では一般ユーザーの誰もが満足する所まで来ているため今後デジタルカメラマーケットがどうなるかは判断が難しい。



■携帯電話

今後マーケット的に更に大きくなるのは携帯電話市場である。スマートフォンも含めて2011年夏以降は大きな伸びが予想される。Apple以外の製品が伸びていくとリテールマーケットのメモリビジネスも広がりを見せる事となる。



ガジェットニュース

クリスマスももうすぐであるが海外ではクリスマスギフトにスマートフォンやタブレットPCを送る人が多いようである。日本のクリスマスプレゼントの流行とはだいぶ違うようである。いくつかのブランドメーカーからiPadケースも発売されているのでiPadを使用しているブランド好きの人には良いプレゼントかもしれない。2010年、日本のクリスマスギフトはあまり変わり映えのしないアクセサリー、時計、マフラー、財布等のギフトが売れ筋のようである。

Prada iPad ケース



ルイヴィトン iPad ケース



第二世代 Google Phone



バンブーキーボードとマウス



iPad キーボード付スタンド



ダイヤモンドバンパー



Windows Phone



ワイン自動販売機



愛犬用タグUSB



セキュリティキー



e プレゼンテーションペーパー



《2010年10月上旬総合部門》KingMax, 先月までと同様, ランクの大半を占有. 7割を占有しました.
ただし, トップ3独占の顔ぶれは変わり, That's, DA-SDHC4X4G が新しくランクイン.

	順位	商品名(上)・商品コード (下)		
up	1	KM-SDHC10X16G 4711200148428	226pt	<p>総合部門では、 KINGMAX シリーズが、占有. ランクの7割です。 トップ3の顔ぶれが変わり、DA-SDHC4X4G, That's がランクインしました。</p>
up	2	DA-SDHC4X4G 4984279104187	126pt	
up	3	That's DR-47WWY50BNJK 4906915102937	102pt	
up	4	KD-SD2G 4711200140262	96pt	
down	5	KM-MCSD2GX 4984279581315	93pt	
down	6	KM-SDHC6X4G 4711200145434	90pt	
down	7	KM-SDHC2X4G 4711200148954	88pt	
down	8	三菱 VHR12JDP50H5 4991348062217	70pt	
down	9	KINGMAX KM-MCSDHC6X8G 4711200145069	63pt	
up	10	Kingmax PD-02 WH2GBKS 4711200149579	46pt	

2010年 10/1～10/15 磁気研売れ筋商品ランキング

《2010年10月上旬DVD部門》

That's /太陽誘電が1, 3, 5位にランクイン.

MAGLABブランドのHDが伸びており, 7, 8, 9, 10位にランクイン.

ランク全体では, 引き続き国内と海外で拮抗しています.

	順位	商品名(上)・商品コード(下)		
up	1	That's DR-47WWY50BNJK 4906915102937	253pt	<p>DVD部門では That's/太陽誘電が、1, 3, 5位にランクイン。 三菱も2, 6位にランクインしました。 MAGLABブランドのHDが伸びています。</p>
-	2	三菱 VHR12JDP50H5 4991348062217	175pt	
-	3	That's DR-47AWWY50BN 4906915102630	100pt	
up	4	MX DRC120 16X 50P 4984279109076	96pt	
up	5	That's DR-C12AWWY50BN 4906915101947	83pt	
up	6	三菱 VLR130NP10YB* 4991348062576	69pt	
up	7	HD DVDR120 16X PW50PS C 4710212138731	64pt	
up	8	HD DVD-R 16X CPRM PW50PS CS 4710212138977	56pt	
down	9	HD DVDR120 16X PW50PS CS 4710212138724	54pt	
up	10	HD DVR47DA16X100P 4984279002155	50pt	

2010 10/1～10/15 磁気研売れ筋商品ランキング

≪2010年10月上旬 CD 部門≫国内ブランドと海外ブランドが引き続き拮抗。

That's が伸び、トップ 2, 3 にランクイン。トップ 1 は引き続き **GX**。

引き続き **GX** と **That's**/**太陽誘電** がランクを占有。

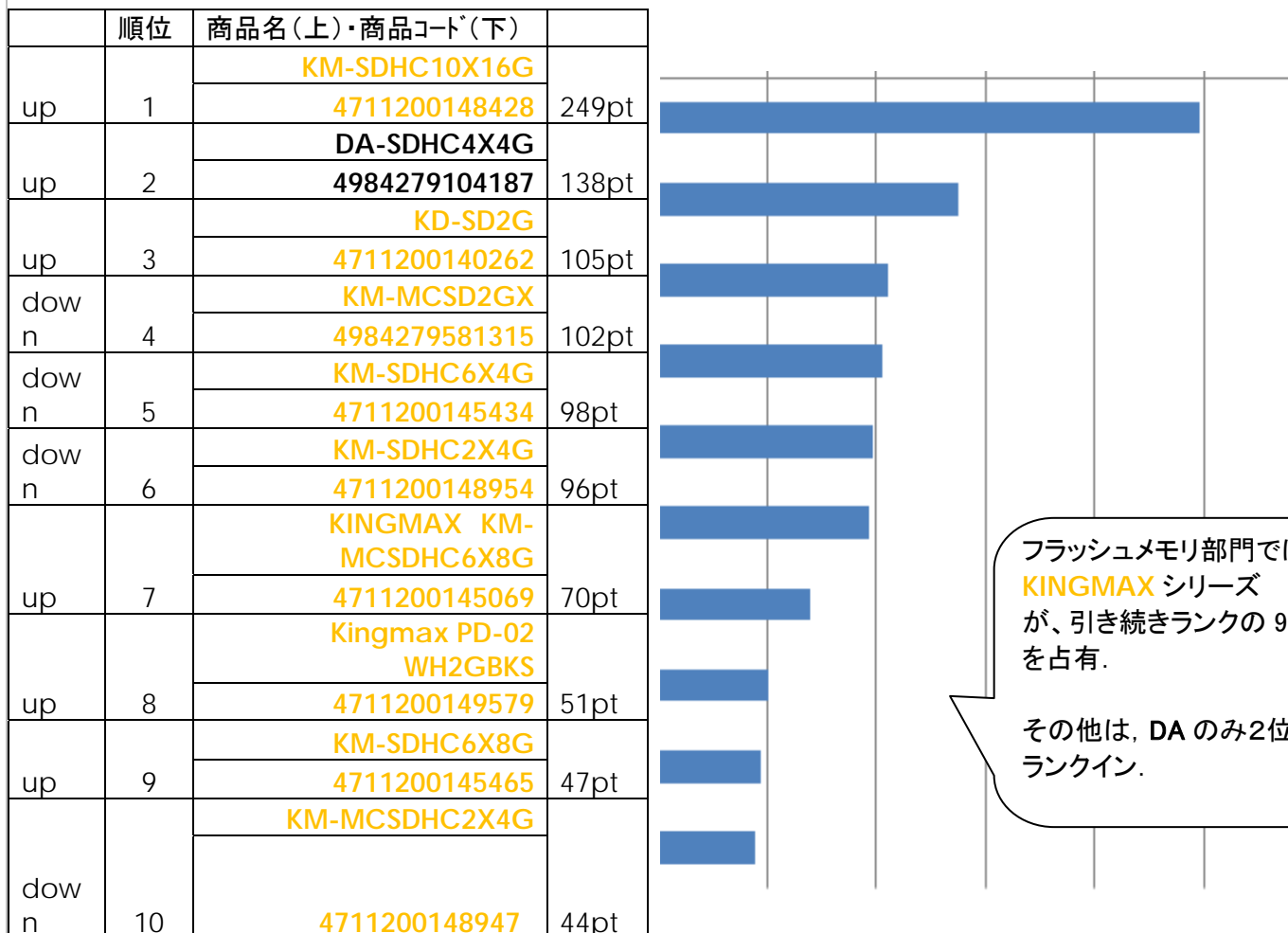
残りは **MAXELL**, **SX** のみランクイン。

	順位	商品名(上)・商品コード(下)		
-	1	GX CDR80WP50 4984279008157	232pt	<p>CD 部門では、国内ブランドでは、That's 太陽誘電 が、2, 3, 8, 10 位にランクイン。</p> <p>海外ブランドでは、GX が引き続き1, 3, 6, 7位にランクイン。</p>
up	2	That's CDR80AWPY50BR 4906915505622	124pt	
up	3	That's CDR80WPY20SV 4906915506766	112pt	
dow n	4	GX CDR80WW50 4984279100424	108pt	
dow n	5	MAXELL CDR700S.PW1P100 4902580349691	98pt	
dow n	6	GX CDR80WP10 4984279008256	73pt	
up	7	GX CDR80WP100 4984279008300	70pt	
up	8	太陽誘電 CDR80WPYSBV 4906915505585	70pt	
up	9	SX CDR80WP100# 4718473005694	59pt	
dow n	10	太陽誘電 CDR74WPYSBN 4906915505172	53pt	

2010年 10/1～10/15 磁気研売れ筋商品ランキング

≪2010年10月上旬フラッシュメモリ部門≫引き続き、KINGMAXシリーズがランクの大半を占有しました。

他は DA のみが2位にランクイン。



会社名:株式会社磁気研究所
〒101-0025
東京都千代田区神田
佐久間町1-17

電話番号
03-3253-5811

Fax
03-3253-5815

E-mail
info@mag-labo.com

おわりに

2010年度は、他社とは違う品揃え、真似のできないサービスの拡充。会社設立31年を迎え新しい磁気研究所に変化していく時期にきていると考えています。

10年後を考えて新しいビジネスにも挑戦していきます。お客様のニーズにあった製品、サービスをお届けするにエンドユーザーの方が本当にほしい機能を製品に反映

することが大切だと考えています。当社営業担当者が新製品の案内や新規企画製品のご案内にお伺いすることがあるかと思いますが是非率直な意見やご要望をお聞かせ頂ければ幸いです。



会社概要

(株)磁気研究所は、おかげさまで創立31年を来年迎えます。メディア専門商社としてお客様のニーズにあったメディア関連製品、売上増に貢献できる商材をご提供できるように心がけております。

メディアサービス事業部では、他社とは違ったサービスをできるように優れた人材の配置と最新設備を導入して常に業界をリードできるサービス体制を整えています。メディア関連製品は、商品価格の低価格化により厳し

い状況ではありますが当社製品の拡販に力を入れて頂けるお客様にはできる限りのご協力をさせていただきます。今後とも当社メディア製品、メディアサービス事業をよろしく願います。

MAG-LAB Style 次号は1月上旬発行予定です。



当社 Web サイト
URL:
www.mag-labo.jp